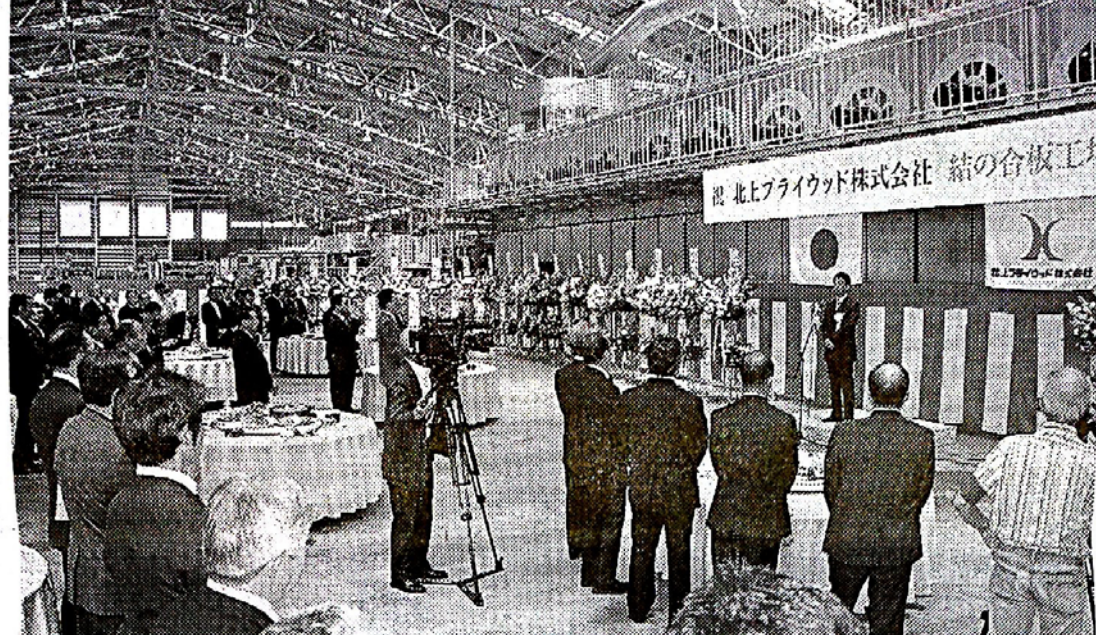


合板工場が完成

北 上 プ ラ イ ウ ッ ド



県産材の利用促進などに期待を込めた北
上プライウッド「結の合板工場」竣工式

北上市和賀町後藤の
後藤野工業団地に進出
した合板製造の北上プ
ライウッド（資本金1
億円、井上篤博社長）
は2日、同団地に整備
した「結の合板工場」
の竣工式を行った。出
席者は原木需要の回復
や内陸立地による県産
材利用の促進に期待を
込めた。

達増知事、高橋敏彦
市長、小島孝文林野庁
木材産業課長ら約20
0人が出席。井上社長
は「地域の森林資源を
使い、林業の復活、産
業の振興、地方創生に

つなげたい」とあいさ
つした。式典後、工場
敷地内にオオヤマザク
ラを植樹。樹木の成長
のように工場が地域に
根付くことを祈った。

鉄骨平屋建ての工場
棟や木質バイオマスボ
イラー棟、管理棟など
延べ床面積は計約1万
6千平方メートル。国、県、
市の補助を活用し総事
業費は約69億円。新工
場の35人を含む計40人
を雇用し、3月から稼
働。現在の稼働率は45
%で、7月中の100
%を目指す。

合板は、縦1820
ミリ、横910ミリ、厚さ12
ミリ、24ミリなど6種類。年

間約330万枚の製造
力で見込む。原木は全量
を本県など国内から調
達。県森林組合連合会
（中崎和久会長）の協
も計画している。

力で県内8カ所のスト
ックヤードを利用し通
年で安定的生産を図
り、台湾などへの輸出